

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 3年 6月 2日	
和歌山県知事	殿
提出者 株式会社 城野組 住 所 和歌山県橋本市慶賀野285-1 氏 名 代表取締役 中田 喜代司 電話番号 0736-37-0803	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 城野組
事業場の所在地	和歌山県橋本市慶賀野285-1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	6 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 52493万円
③ 従業員数	13人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 → 分別 → がれき類 → 保管 → 再生処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph TD     A[取締役会] --&gt; B[現場責任者]     A --&gt; C[事務担当者]     B --- B1[委託契約の締結、マニフェストの交付]     B --- B2[産業廃棄物の分別、保管]     C --- C1[マニフェストの管理]     C --- C2[報告書作成] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	3085 t
	(これまでに実施した取組)	
<p>受注によって大きく左右されるが、過去数年間の傾向や前年度の受注高を基にして推計する等により産業廃棄物の種類毎の排出量を予測する。</p>		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	1000 t
	(今後実施する予定の取組)	
<p>これまでに実施した取組をけいぞくする。</p>		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>がれき類、木くず、廃プラスチック類、建設混合廃棄物の別に分類保管する。</p> <p>建設混合廃棄物の発生は分別解体等により抑制するとともに、混合状態で排出されるものについては、展開場において適正に分別することにより、可能な限り削減する。</p>	
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>これまでに実施した取組を継続するとともに、具体的な作業手順を定め、教育、啓発等により従業員および関連会社に周知徹底することにより、すべての者が適正に廃棄物を取り扱える仕組みを設ける。</p>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	3085 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3085 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<p>処理業者と委託契約を締結するに当たっては事前の現地確認（処理状況、維持管理状況、周辺状況）するとともに、委託後に定期的な確認を行う。</p> <p>再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため、委託先についての情報収集を行い、ルートを確保する。</p>			

## (第5面)

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでに実施した取組を継続する。  さらに適正な委託先の選定にあたっては、有料産業廃棄物処理業者に関する情報、公開される産業廃棄物処理施設の維持管理情報等を活用する。  また、再生利用が不可能な廃棄物については、積極的に熱利用を推進し、委託先についての情報収集を行い、ルートを確保する。</p>		
※事務処理欄			